光証券株式会社　様

通録AI分析サービス



左）光証券株式会社 代表取締役社長　森中　寛　氏
右）弊社 代表取締役社長　竹林　義修

Ⅰ　導入検討の背景

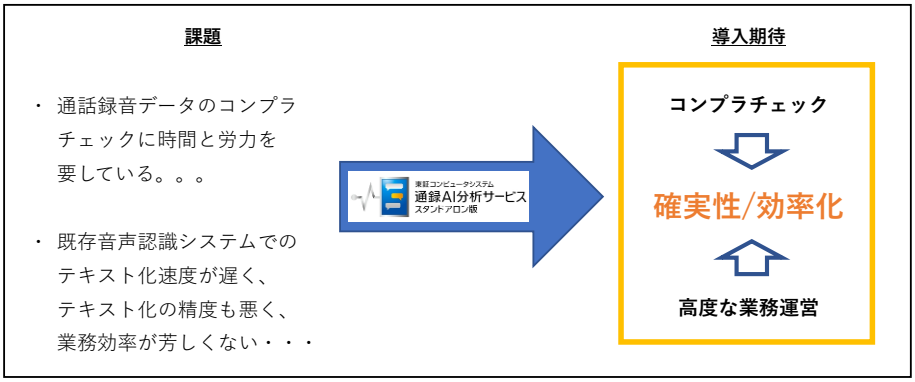
課題

光証券では、大きく2つの課題が存在していました。
1つ目に、コンプライアンス部門にて通話録音データのコンプライアンスチェックを行っておりますが、現行は基幹システム上で、取引状況や顧客属性からチェック対象を絞り込み、通話録音システム側で該当の通話録音データの抽出をいずれも手作業で行うという手法をとっているため、時間と労力を要しています。確実かつ効率的なコンプライアンスチェックを実施するには、通話録音データからチェック対象を抽出し、その通話内容にフォーカスしてチェックを行うことができればと考えていましたが、コスト面の課題もあり、なかなか実現には至っていませんでした。
2つ目に、上記通録データを、議事録用音声認識システムを活用してテキスト化していますが、特有な証券用語の音声認識精度が芳しくなく、なんとかして解決を図りたいと考えていました。
そのような最中に、東証コンピュータシステムより通録AI分析サービスの提案を受け、このサービスであれば、上記に掲げた課題を解決できると考え、具体的な検討を開始いたしました。

Ⅱ　導入効果への期待

コンプラチェックおよび議事録作成の確実性/効率化

通録AI分析サービスでは、音声認識によるテキスト化を行った上で、特定の発言をキーワードとして抽出することが可能です。識字率が高く、日本語特有の方言にも対応できる点や、複数の検索キーワードを登録してマッチングできる点などから、実務における有用性は高いと考えています。
コンプライアンスチェックの観点としては、「不招請勧誘を行っていないか」「法令および自主規制規則に反する勧誘を行っていないか」といった点が重要となりますが、通話内容を迅速かつ正確に把握できることで、営業員によるお客様への説明における重要な確認事項を効率的に検証できるものと期待しています。
また、実際の音声時間よりも非常に短い時間で文字認識が完了する処理スピードは、当社の業務効率を高める上で有効であると考えており、コンプライアンスチェックおよび議事録作成の両面において、どのような活用が可能か現在試行錯誤を進めているところです。これにより、コンプライアンス体制の強化と、限られた人員の中でも安定的かつ高度な業務運営につなげていきたいと考えています。



■光証券概要■

光証券株式会社

設立	昭和23年4月
所在地	神戸市中央区加納町3丁目4番2号
役職員数	81名（令和7年11月末現在）
メッセージ	1948年の創業以来、神戸唯一の独立系証券会社として地域の皆様と共に歩みを進めて参りました。 弊社独自の自由な発想での投資戦略に基づいて、お客様の資産を、"攻めと守り"の両面からサポートし、 皆様の未来に光を灯す存在となれますよう日々研鑽を重ねております。
URL	https://www.hikarishoken.com/